

かこむ会との出会い

東京支局 魚野 由清

早いもので、鶴木清二さんが亡くなって、7月16日で一周忌となります。故人を偲んで、久仁京介かこむ会との出会いを振り返ってみました。

私と清二さんは、いとこの関係ですが、お互いに地元(五泉)を離れて東京/横浜で生活していたこともあり清二さんから何かあると相談がありました。

久仁京介さんが日本作詞家大賞を受賞する事がわかった頃から、久仁京介さんのファンクラブを作るとの意気込みでした。クラブを作るにあたって会則が必要だが、何かいい事例がないかとの事。

最初から、堅苦しいのでは、窮屈なのではないかとの会話をしていましたが、清二さんの性格からきちんとした会則となったかと思えます。

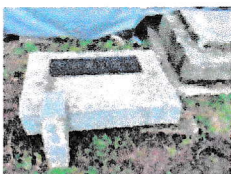
日本作詞家大賞の放送はTV東京系列で、新潟の地方局では放送されないため録画して欲しいとの事。放送後、すぐに見られる様に大賞の受賞場面をデジカメで撮影して、その日のうちにPCメールで送信しました。

久仁京介さんの大賞受賞を自分が受賞したかのごとく喜んでいた事が思い出されます。その後、かこむ会の会報発行を手伝う事になり現在に至っています。ネタ記事がなくなると、私を東京支局長に任命するので、記事を書いて送ってくれとの事。会員でもないので私は遠慮すると言っていましたが、何でもいから記事が欲しいとの事で、3回ほど、執筆した事がありました。

今回は、白根さんからの依頼があり、かこむ会の出会いを振り返ってみました。会報を通じて、地元の情報など色々と学べる事が多く、大変ためになっております。

今回は、7月30日(日)に「新潟市工之跡」石碑移設除幕式及び式典が予定されており、かこむ会のメンバーと共に、久仁京介さんも除幕式に出席されるとの事。かこむ会の皆さんで、また、再会が出来るようでうれしく思っています。

当日は、鶴木清二さんも空の上から参列していると思います。 合掌



「新潟市工之跡」石碑保存の会

代表 中央区附船町1丁目住人 岩間正吉 昭和34年新潟市工卒業生 久仁京介
中央区附船町1丁目町内会長 近藤清 昭和40年新潟市工卒業生 加藤功
お問い合わせ先：「新潟市工之跡」石碑保存の会 加藤功 携帯090-4701-3910